

カセサート大学図書館

カセサート大学図書館、エレベーター待ちの時間を学生が見逃せないメッセージに変える

要約

国: バンコク, タイ

業種: 教育

実装製品:

- SMP-2200 × 20
- CMS-SE × 1
- ロバスティソリューション

画面 20 台、ダッシュボード 1 つ、そして学生が本当に注目するようになったエレベーターの時間

DmaSStech は、CAYIN SMP-2200 プレーヤー 20 台と CMS-SE サーバー 1 台で、カセサート大学図書館のエレベーターホールと閲覧フロアを 1 つにまとめ、図書館スタッフがキャンパス内のすべての画面を 1 つのダッシュボードで管理できるようにした。

タイのバンコクにあるカセサート大学図書館のエレベーターホールを、毎日何千人もの学生が通り過ぎる。そのわずか数秒の待ち時間は、これまでは無駄な時間だった。地元の設置業者でありメディアパートナーでもある DmaSStech と協力し、図書館は待ち時間を学術コミュニティ全体への能動的なコミュニケーションチャンネルに変えるデジタルサイネージネットワークを構築した。すべては図書館自身のスタッフによって管理されている。



カセサート大学図書館の 3 階、エレベーターの扉の上に設置されたデジタルサイネージ。階を移動する際に待つすべての学生の目に届く。

DmaSStech は、タイで最も歴史ある国立大学の一つであるカセサート大学の図書館に、**CAYIN SMP-2200 プレーヤー 20 台と CMS-SE サーバー 1 台**を導入し、図書館スタッフが 1 つのダッシュボードでキャンパス内のすべての画面を管理できるようにした。

紙の掲示より速く伝える必要があった図書館

カセサート大学図書館は、タイで最も歴史ある国立大学の一つを支える学術支援部門であり、学生、教員、研究者、職員に情報サービスを提供し、学習、研究、持続可能な学術発展を促進することを目的としている。多くの大規模な大学図書館と同様、この図書館もよくある課題を抱えていた。紙の掲示物やポスター、掲示板では、行事や締め切り、サービスが毎週変わるキャンパスの動きに追いつけなかった。

図書館には、リアルタイムで動的なコンテンツを届ける手段が必要だった。印刷して貼り直すのではなく数分で入れ替えられる情報、そして日常的なスケジュール変更から時間の限られたキャンペーンまで、あらゆる状況に柔軟に対応できる仕組みだ。デジタルサイネージは明確な答えだったが、それは図書館スタッフ自身が一元管理でき、更新のたびに外部の技術サポートに頼らずに済む場合に限られていた。

プレーヤー 20 台、サーバー 1 台、すべての画面を 1つの体制で

このニーズに応えるため、DmaSStech は CAYIN SMP-2200 デジタルサイネージプレーヤー 20 台と、CAYIN のエンタープライズ向けコンテンツ管理プラットフォームである CMS-SE サーバー 1 台を組み合わせ導入した。画面は学生の人の流れが集中する場所に正確に配置されている。図書館上階のエレベーターホールでは、両側のエレベーター扉の真上に画面が設置され、階を移動する際に待つすべての学生の目に届く。開放的な閲覧エリアや主要な動線沿いでは、追加の画面が構造柱に設置され、The Older Library、Individual Study、Circulation Service、Warehouse Book などのサービスへの案内標示のそばで、はっきり見える位置に配置されている。

これは、個別に動くばらばらの画面の集まりではない。すべての SMP-2200 プレーヤーは CMS-SE サーバーに接続されているため、図書館自身の広報スタッフは、新しい告知やイベント案内、安全に関する注意喚起を、キャンパス内のすべての画面、あるいは特定のグループの画面に、1つのダッシュボードから送信できる。ファイルを USB メモリにコピーする必要はない。プレーヤーを 1 台ずつ現地で操作しに行く必要もない。



図書館自身が書き、スケジュールし、公開するコンテンツ

画面は、単に一般的なメッセージを受動的に流し続けるだけの存在ではない。図書館自身の画面で流されているあるキャンペーンでは、KUMOOO と KULINK のオンライン講座の取り組みと連動し、支払いなしで図書館の延滞金を解消する具体的な方法が示されている。QR コードが添えられ、手続きは 15 分以内に完了できるという明確な案内も含まれる。同じ画面ネットワーク上では、DPAC 講座の情報や修了証プログラムの詳細、ステップごとの図解も表示されており、いずれもエレベーターが到着するまでの時間でスキャンして行動できるように設計されている。

これがこの導入の実用的な証明である。告知、活動情報、キャンパスニュースは、すべてカセサート大学図書館自身のスタッフによって作成され管理されている。図書館は、外部の業者が更新を公開するのを待つことなく、学生が何をいつ目にするかを自ら決めている。



なぜエレベーターホールは建物内のどの壁より効果を発揮するのか

SM City Zamboanga のデジタルサイネージネットワークは、商業パエレベーターホールは、複数階建ての建物の中で人が確実に立ち止まる数少ない場所の一つである。学生はそこを素通りすることも、立ち止まらずに通ることもできない。大学図書館にとって、それはエレベーター周りを試験日程の変更からワークショップの案内まで、時間に敏感なメッセージにとって自然な場所にする。すでに閲覧フロアを移動している学生に届く柱設置の画面と組み合わせることで、図書館は同じコンテンツ資産から2種類の異なる露出を得られ、スタッフの業務負担を増やすこともない。

プロジェクトは2026年8月10日に開始し、同日中に完了した。複数の学期にまたがる段階的な導入も、長引く技術的なトラブル対応もなかった。DmaSStech が設置とメディア統合を一貫して担当し、システムは稼働開始日からスムーズに動作しており、迅速で最新、そして図書館自身が完全にコントロールできるコミュニケーションネットワークという当初の要件を満たしている。

DmaSStech が予定どおりに完了させた導入

カセサート大学図書館によると、この導入は成功しており、図書館はシステムをスムーズかつ効果的に運用しているという。

DmaSStech は本プロジェクトの設置およびメディア統合パートナーを務め、複数学期にまたがる段階的な展開ではなく、プレーヤー20台とサーバー1台からなるネットワーク全体を単一フェーズで納品した。カセサート大学図書館での取り組みは、プロジェクトを決められた期間内に完了させ、継続的な現地サポートなしですぐに稼働できる状態で引き渡す必要がある教育機関にとって求められる、一貫した実行力を示している。

世界中の教育機関から信頼されるパートナー

CAYIN Technology は、2004年以来台湾発の信頼されるデジタルサイネージソリューションおよびソフトウェア開発企業であり、教育、小売、ホスピタリティ、交通、企業など幅広い分野で、100か国以上にハードウェアとソフトウェアを展開している。1つの図書館フロアから複数キャ

パスにまたがるネットワークまで、CAYINのSMPメディアプレーヤーとCMSソフトウェアは、長期的な導入に求められる信頼性と、現代のコンテンツ戦略に求められる柔軟性の両方を提供する。



CAYIN Technology について

CAYIN Technology は、台湾で21年以上の実績のあるデジタルサイネージソリューションおよびソフトウェアの開発企業です。アプライアンスベースのデジタルサイネージソリューションの完全なポートフォリオを提供するCAYINは、世界各地のクライアントに信頼されるパートナーとして、様々なグローバルアプリケーションをセットアップしてきました。製品の展開を最大限に促進させるため、ほぼ無限のアプリケーションに対して成長し続ける市場の需要を満たすサービスを提供しています。



CAYIN Technology Co., Ltd.

3F, No.57, Sec. 3, Zhongshan N. Rd., Zhongshan Dist., Taipei City 104027, Taiwan

TEL : +886-2-25951005 FAX : +886-2-25951050

sales@cayintech.com <https://www.cayintech.com/jp/>